



ニュースレター第103号



中国のキャッシュレス決済が普及した要因はQRコードで簡単にできたから

今年の消費税の増税によりキャッシュレス決済を利用する人が急速に増えています。私自身もキャッシュレス決済で買い物をする機会が増えました。しかし多くのキャッシュレス決済はスマートフォンの画面にバーコードを表示してお店のバーコードリーダーで読み込むタイプの決済方法です。日本よりも普及が進んでいる中国の決済方法は「QRコード」です。この違いは以下の画像で一目瞭然です。バーコードリーダーはレジと連動し、カードを読み取る端末などかなり大掛かりな投資になります。しかしQRコード決済は紙1枚で大きな買い物は必要ありません。中国の屋台のほとんどがこのQRコード決済で支払いができます。

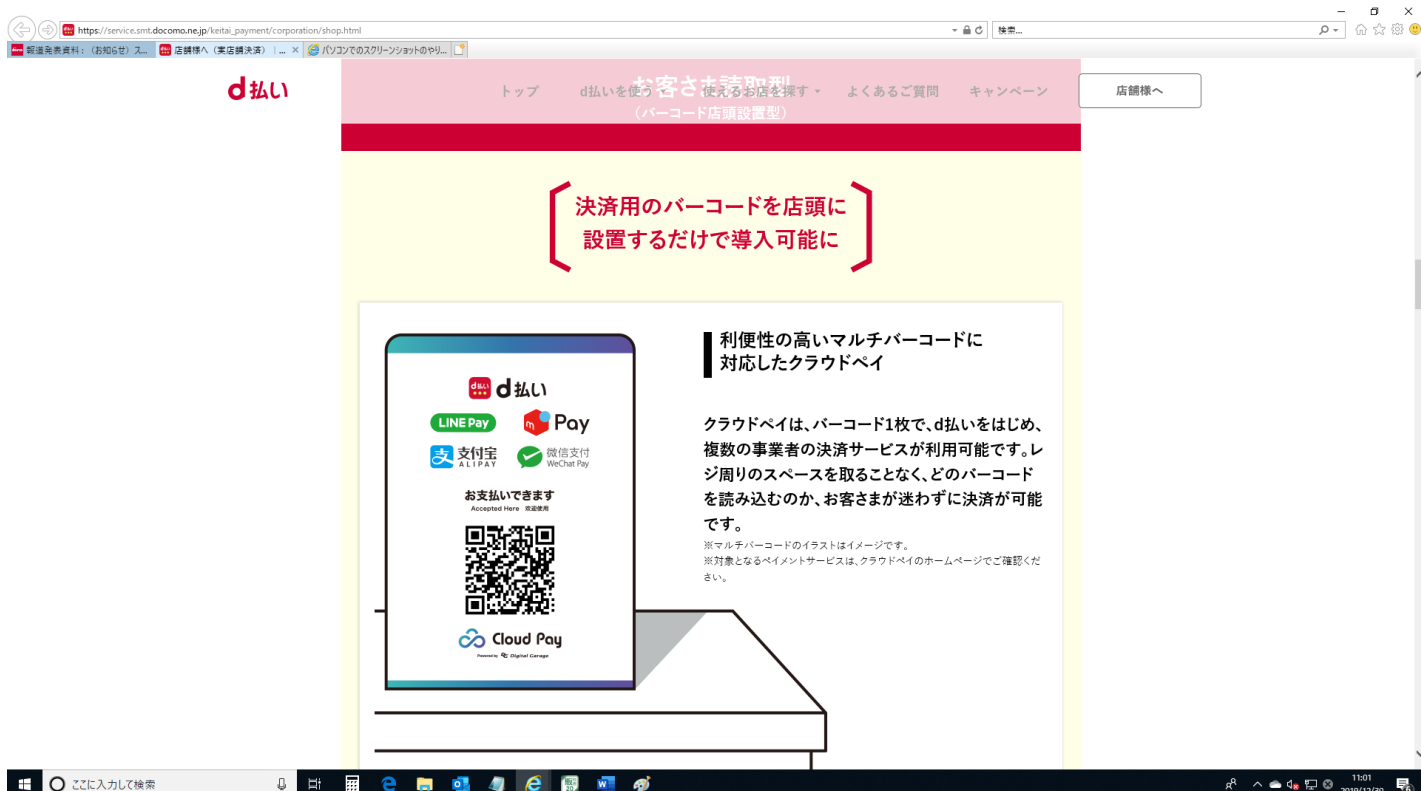


QRコードをお客さんが読み込むことで決済完了



スマートフォンのバーコードを読み取り決済

そして日本でもドコモがこのQRコード決済に積極的に取り組むようです。これは既にドコモのホームページでも紹介されています。また弊社のケータリングのお客様にもドコモから営業が来たそうです。内容は以下の通りです。



このQRコード決済にドコモだけでなくLINE、メルペイ、中国のWeChat、Alipayの5社が賛同していることが重要です。今までの日本のキャッシュレス決済は汎用性に欠けていました。「Aというコンビニでは使えるがB店では使えない」そんな事がたまにありました。このQRコード決済にはその壁を取っ払える魅力があります。

裏面へ続く

手数料と使い方



←決済方法も簡素化されています。このやり方であれば数あるキャッシュレス決済の会社も一つにまとめる可能性があります。

中国では手数料は0円です。しかし日本は 3.24%かかってしまいます。しかしキャッシュレス決済を求めお客様が増えた時売り逃しを考えると導入を考えざるを得ないお店もあるかもしれません。ここで一点問題があります。お店によってはデベロッパーさんへ現金で入金しなければならないケースです。このキャッシュレス決済のお客様からの入金はありません。半月から1ヶ月立て替えることになります。

導入のメリット

①省スペース店舗でも導入が可能

たい焼、たこ焼、ケータリングの社内など弊社のお客様は比較的狭いスペースで営業されています。そんな省スペース店舗でも導入が可能になります。初期投資も抑えて導入できます。

②キャッシュレス決済のお客様の囲い込み

今年からキャッシュレス決済の利用をする消費者が増加しました。そして海外からの観光客も年々増加しています。そのお客様を取り込むためにも必要な投資だと思えます。

③アクティブユーザーの多い会社が参加

LINEのアクティブユーザーが8000万人を超えています。そのLINEが参加するというのが大きなマーケットです。さらにWeChatとAlipayを使えるようにしたことで中国人観光客をターゲットにしています。更にこの決済に乗る会社は増えていくと思えます。